

## 浅川組運輸株式会社（和歌山県）

【港湾関連業務・物流管理サービス・工場構内作業請負等】

商工会議所のイチオシ

ジョブ・カード制度を活用し、  
港湾関連業界に若者や女性を呼び込む！  
南会長の取組をご紹介します

LEADER

## 代表取締役会長 南 良和 氏

和歌山県築港をはじめ、大阪府や千葉県において、総合物流サービス事業を展開する浅川組運輸株式会社。

海上コンテナの取扱業務や倉庫物流管理サービスなどを提供する港湾関連業界において、次代を担う若者や女性社員の育成に積極的に取り組んでいる。

## お客様から信頼される担当者を目指して！

- ◆ 若者や女性を投入し、活力のある組織を構築
- ◆ 個々人が継続して業務に取り組むことで業務品質を向上
- ◆ 「ジョブ・カード制度」を活用し新規採用者の就労意識を向上

## ■背景・きっかけ:

浅川組運輸株式会社は、大正11年、和歌山県下津港の船内荷役業・浅川組として創業。昭和38年には、港湾運送・船舶代理店業の更なる充実と業容範囲の拡大のため、浅川組運輸株式会社として独立。現在は和歌山県をはじめ、大阪府や千葉県等において、海上コンテナの取扱業務や倉庫物流管理サービス、輸入輸出業務など、総合物流サービスの提供に務めている。

近年は、事業継続の要である従業員の高齢化が進み、次代を担う「若手社員の育成」と「世代交代」が早急な課題となっている。また、未来を見据え、活力ある組織を構築するために、効果的な若手社員の採用方やベテラン社員の知識・ノウハウの継承をどのように進めていけばよいのか、検証が求められていた。そのような時、商工会議所より、「ジョブ・カード制度」の紹介を受ける機会があった。ジョブ・カード制度では、面談による新規採用者の労働意欲の醸成や、会社のニーズにマッチした訓練の実施が可能である。将来への事業継続をも見据え、会社が抱える課題を解消するための一つの方策となるのではないかと、南会長はジョブ・カード制度を導入し、取組みを促進させることを決定した。

## ■取組内容・効果:

実習型雇用訓練を実施するにあたり、浅川組運輸株式会社ではまず、活力ある職場を実現しようと、訓練生が職場の雰囲気十分に慣れてから訓練をスタートすることができるよう心掛けた。また、各職場により業務内容が異なるため、職場の指導者に対し、訓練内容の周知と進め方を徹底し、他の先輩社員による訓練支援の実施も積極的に進められるよう配慮した。その結果、現在までに、10名（予定者含む）が制度を活用して既に正規社員として働いている。

港湾関連業務は、「男性の職場」というイメージが定着しているが、制度導入を通じて、若い女性からも積極的な応募が



## 中小企業の実践ポイント

- ▶ 指導者が訓練生の立場や心情を深く理解し、辛抱強く指導するよう心掛ける。
- ▶ 訓練生の疑問や課題等を皆で共有し易い社内の雰囲気作りに努め、皆で訓練生の成長を楽しむ。

寄せられるようになった。海上コンテナの取扱業務など、近年では機械システムの発達により、女性もその能力を十分に発揮できる職場環境が整っている。訓練生の受入れにあたっては、次代の活躍をも想定し、若者や女性を積極的に受け入れるよう努めている。

## ■今後の展望と課題:

制度の導入により、社員の中にも、新入社員を暖かく育てていこうという、活気や責任感、自主性などが芽生えているという。また、訓練体系の構築により、職場間の連携も更に強化・改善されてきた。今後の課題は、訓練の指導項目やレベルの明確化と標準化を図り、職場全員で業務品質の向上を永遠の課題として取り組んでいくことという。

日本商工会議所「ジョブ・カードセンター」<http://www.jc-center.jp/>  
厚生労働省「ジョブ・カード制度」[http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/job\\_card01/](http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/job_card01/)



## 【企業データ】

代表者	代表取締役社長 若林 伸男	会社設立年	昭和38年1月26日	従業員数	170人(うち女性15人)
本社所在地	和歌山県和歌山市築港5-4	ホームページ	<a href="http://www.asakawa-unyu.co.jp">http://www.asakawa-unyu.co.jp</a>		
事業内容	港湾運送、倉庫、船舶代理店、通関、貨物運送等				